

12月14日（土）、オール長崎『初期研修 合同説明会』（新・鳴滝塾主催）が、長崎新聞文化ホール アストピアで開催されました。

中には遠路はるばる中国地方から来てくださった方もいらっしゃいました。

みなさん、寒空の下、お集まりいただき、ありがとうございました！



病院別説明会では、長崎県内の14病院がブースを出しました。

各ブースでは、参加者とマンツーマンで病院内外の環境や研修医ライフなどについて説明していました。最初のうちは、皆さん少し表情が硬めでしたが、各ブースを回り、熱心な説明を受けるごとに研修医生活のイメージが膨らんでいる様子。

研修医の先生方の「生の声」が、医療の現場の空気をビシビシと伝えてくれたようです。

パンフレットを作っていたり、パソコンやタブレット端末を使った映像を見せたりと説明方法は各ブースで様々。

もちろん、どちらの病院でも実際に働いている研修医が同席しているので、研修についてだけでなく、生活環境についても細やかに説明していました。



最後は会場を変えて懇親会。

乾杯の音頭は長崎大学病院の研修医、吉村先生がしてくださいました。

お酒も入り、参加者と研修医との距離は一段と狭まって、和気あいあいとした雰囲気の中で合同説明会は終了しました。集まってくださった研修医の先生方、お疲れさまでした！

Report 協力:長崎大学病院 医療教育開発センター